

雨にも負けず、第43回フロストバイトロードレース開催 *Rain Fails to Dampen Spirits at 43rd Frostbite Road Race*

January 25, 2024

By Airman 1st Class Alexzandra Gracey
374th Airlift Wing Public Affairs

チーム横田は1月21日、第43回フロストバイトロードレースを開催した。大会には、横田基地内を駆け巡る3つのコースが設けられた。

このフロストバイトロードレースは、1981年の初開催以来、国内で特に人気が高いロードレースの一つに数えられている。今年は日米合わせて約1万人の参加者がポンチョやレインジャケットを着て、降り続く雨と極寒の気温に耐えながら、2kmファミリー、2kmキッズラン、5kmラン、ハーフの種目に挑んだ。

横田ストライダーズ・ランニングクラブのマシュー・プリンカー会長は、「普段基地に入ることができない日本の人々にとっては特別な体験だ。日本の友人たちに、私たちがいかに関係維持のために取り組んでいるかを示す大会だ」と語った。

このレースは、横田ストライダーズ・ランニングクラブが企画・開催した。同クラブは基地内で設立された非営利団体で、フィットネスを通じて地域のコミュニティとのつながりを強化することを活動の目的としている。大会の運営は、地域のコミュニティ、チーム横田の任意団体、航空自衛隊の関係者等、多くのボランティアによって支えられた。

第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐は、「本大会は、横田と周辺地域との密接な長年にわたる関係を示すものだ。今のこうした瞬間は、まさしく日米の友情と協力の表れだ」と語った。

